

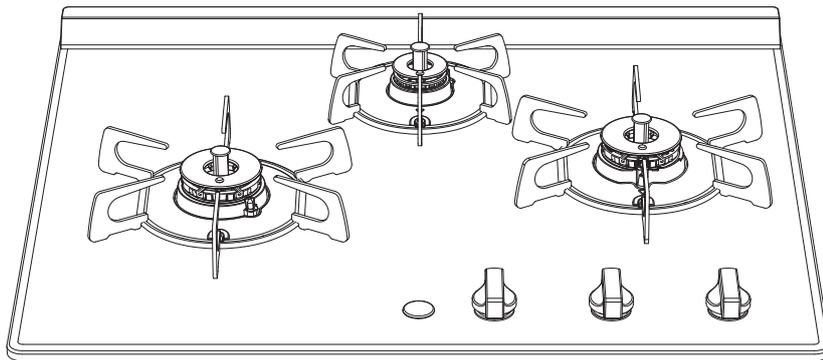


キッチンから、笑顔をつくろう

ガスビルトインコンロ

取扱説明書 保証書付

トッププレート幅 | ZGDRL6A18NGK
60cm



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項や
お手入れ方法についてまとめたものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。



36551800

Siセンサーコンロについて

Siセンサーコンロ

全口センサー搭載

安心(Safety)、便利(Support)、笑顔(Smile)を約束する、賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

温度センサーのはたらき



◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます！

立消え安全装置

◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します！

消し忘れ消火機能

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します！

調理油過熱防止装置

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、自動消火します！

焦げつき自動消火機能

とくに多いご質問です

・使用していないのにブザー音がする

お知らせ機能がはたらいているためです。

自動消火した場合、器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。

戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。

※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。



14

・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

自動的に火力を弱火に調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。

また、高温炒めボタンを押すと、通常時より高温での調理ができますが、異常過熱を防止するために温度センサーの温度が上がりすぎたり、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。



13

19

・電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。

新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(付属の乾電池は、お試し用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。)

※電池ケースはキャビネット内に取り付けてあります。



15

※内の数字は、参照ページを示しています。

もくじ

各部のなまえ 3

安全なご利用のために

必ずお守りください(安全上の注意)・・・ 5

このコンロについて

安心・安全機能／お知らせ機能・・・ 13

乾電池を交換する 15

毎日の使いかた

コンロを使う準備 16

コンロの使いかた(基本操作)..... 17

高温炒めモード(左コンロ)..... 19

便利な使いかた

レンジフード連動機能 21

長くご利用いただくために

日常点検とお手入れ 23

お手入れ 25

よくあるご質問 32

ブザー報知とお知らせ表示 37

長期間使用しない場合／仕様 39

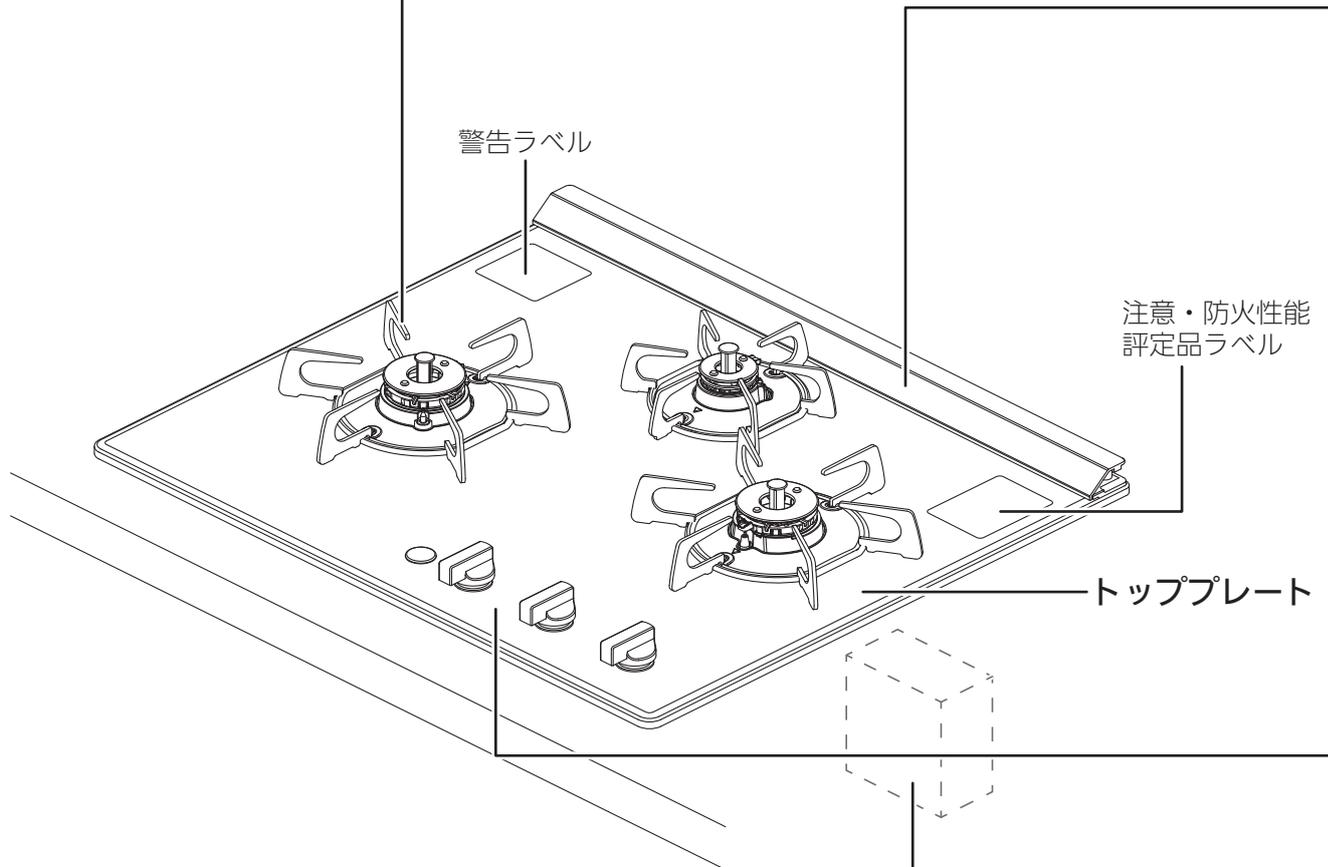
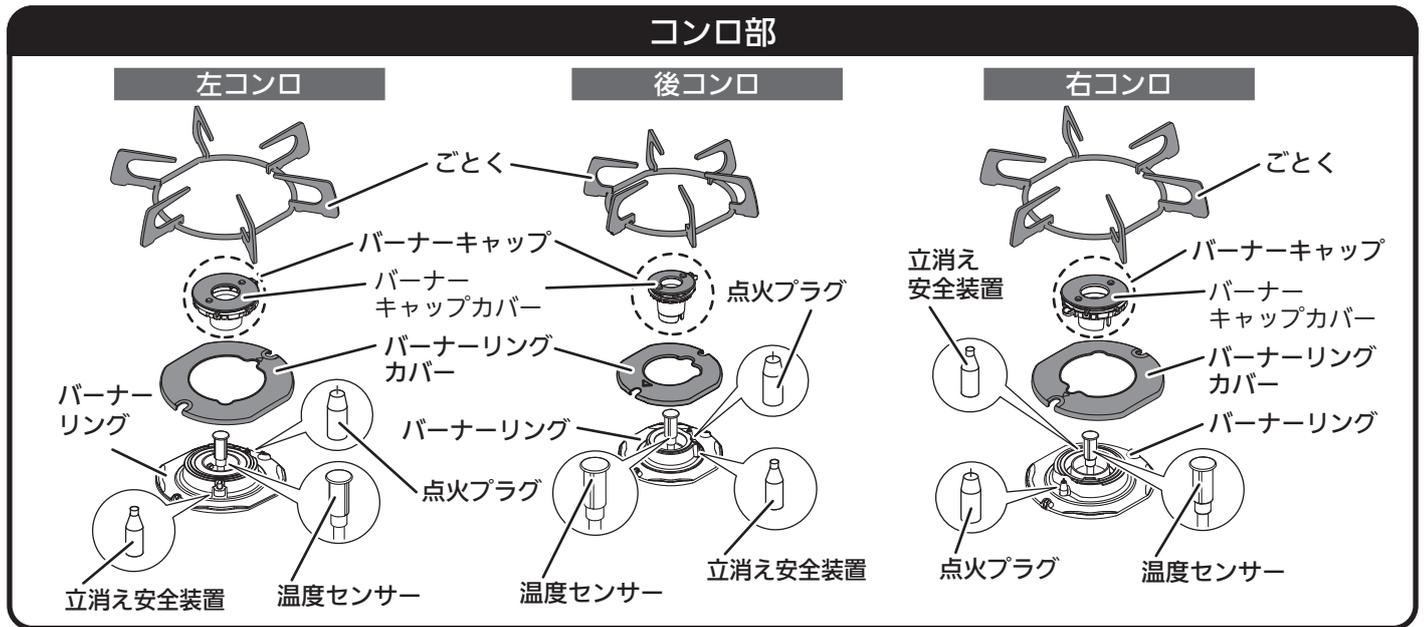
アフターサービス／廃棄時のお願い .. 40

交換部品(消耗部品) 41

保証書 42

各部のなまえ

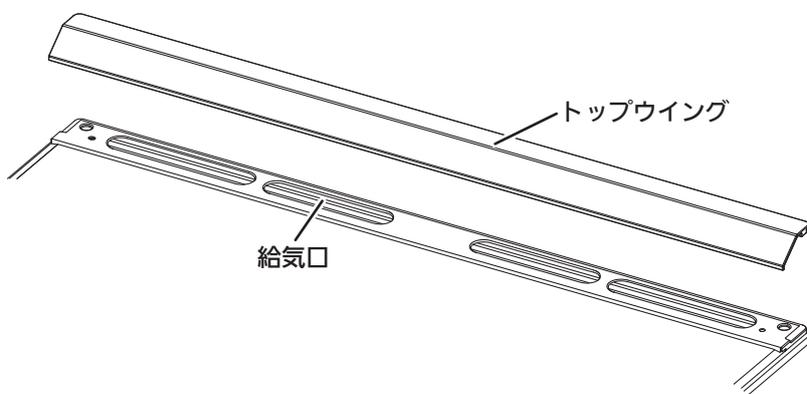
・取り付け方法については、「お手入れ」(25~31ページ)を参照してください。



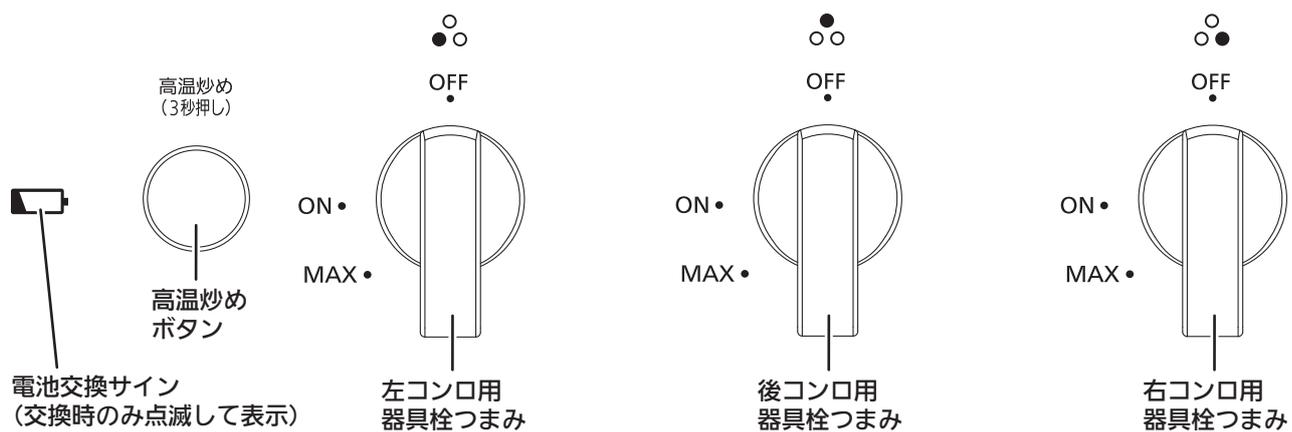
電池ケース

※キャビネット内に取り付けてあります。
 ※乾電池の交換方法については、「乾電池を交換する」(15ページ)を参照してください。

給気口部



操作部



必ずお守りください (安全上の注意)

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分、表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害、損害の程度による内容の区分

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意、禁止内容の絵表示

 必ず守る	 換気する	 禁止	 火気禁止
 分解禁止	 接触禁止		

ガス漏れに気づいたときは

危険



火気禁止

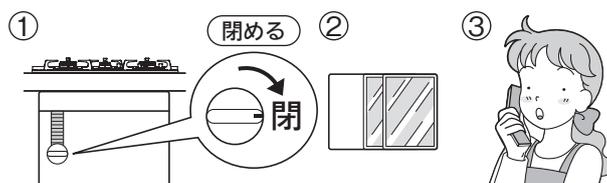
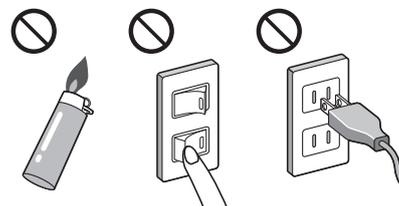
- ・絶対に火をつけない
- ・電気器具(換気扇など)のスイッチの入/切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話を使用しない

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



必ず守る

- ・すぐに使用をやめる
- ①火を消し、ガス栓を閉める。
 - ②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
 - ③お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。



異常時

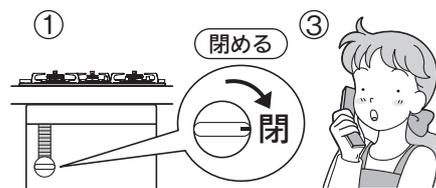
警告



必ず守る

- ・点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音などを感じたときは、すぐに使用をやめる

- ①火を消し、ガス栓を閉める。
- ②『よくあるご質問』(32~36ページ)、『ブザー報知とお知らせ表示』(37~38ページ)に従い、処置をする。
- ③上記の処置をしても、なおらない場合は、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡する。



必ず守る

- ・地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉める

使用時や使用後は



- ・点火、消火のあとは、必ず炎を確かめる
火災や思わぬ事故の原因になります。
※また、使用後は、ガス栓を閉めてください。



- ・使用するバーナーの器具栓つまみを確認してから点火操作をする
間違って操作すると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。

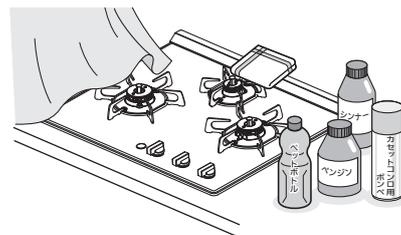


- ・点火操作をしても点火しない場合は、器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火操作をすると、周囲のガスに引火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

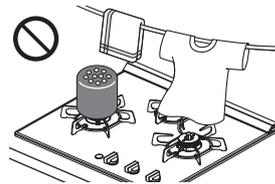
機器周辺には



- ・爆発のおそれがあるもの、引火しやすいものや燃えやすいものを機器の近くで使用したり、置いたりしない
- ・熱で圧力が上がるもの(スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど)
爆発のおそれがあります。
- ・引火しやすいもの(スプレー、ガソリン、ベンジンなど)
- ・燃えやすいもの(ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど)
火災の原因になります。



- ・調理以外の用途には使用しない
練炭の火起こしや衣類(ふきんなど)の乾燥などに使用しないでください。異常過熱、異常燃焼による機器焼損、火災の原因になります。



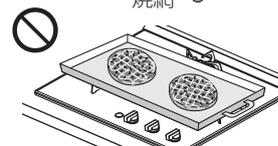
- ・補助具(アルミはく製の受け、省エネごとくなど)は、機器に付属または機器指定の補助具以外、使用しない
一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。



- ・焼網は使用しない
トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。



- ・コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使用しない
不完全燃焼をおこしたり、機器の異常過熱のおそれがあります。



必ずお守りください (安全上の注意)

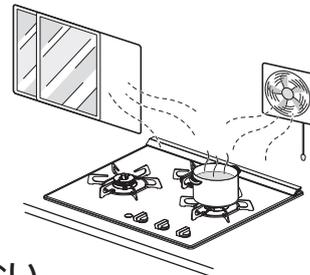
使用中は



- ・火をつけたまま離れない
 - ・火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない
- 調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。
※とくに天ぷらや揚げもの調理をしているときは注意してください。
電話や来客の場合は、一旦火を消してください。



- ・必ず換気をする
- 窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※屋内設置(密閉式は除く)の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと給湯器やふろがまの排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。



- ・点火操作時や使用中は、バーナー付近に顔や手などを近づけない
- 炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。



接触禁止

- ・使用中や使用直後は操作部以外には触れない
- 機器本体とその周辺や調理用具の熱で、やけどのおそれがあります。
・1カ所のみコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。



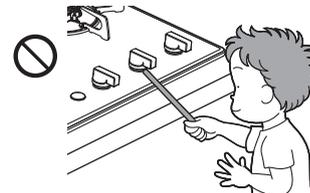
- ・トップウイングの上に、ふきんやタオル、アルミはくなどをのせたり、ふさがない
 - ・トップウイングの周りには、ものを置かない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。
※ふきんや異物が入った場合は、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。



- ・子供だけで使わせたり、乳幼児が触れないように注意する
- やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。



- ・操作部などのすき間に異物を入れない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。



コンロ編

使用中は



必ず守る

- ・コンロ使用中は、身体や衣服が炎に近づかないように注意する
- 衣服に炎が移って、やけどをするおそれがあります。
また、安心・安全機能がはたらいで炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。



必ず守る

- ・エアコン、扇風機などの風がコンロの炎にあたらないように配慮して使用する
- 風があたると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、炎が途中で消えたり機器損傷の原因になります。



必ず守る

- ・やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する
- はみ出した炎により、やかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手などの焼損の原因になります。

揚げものの調理の際は



・高温炒めモードで揚げものの調理をしない
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。

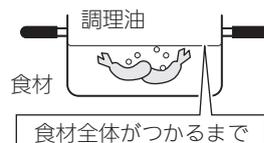


・耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理をしない
調理油過熱防止装置が正常に作動せず、調理油が発火するおそれがあります。

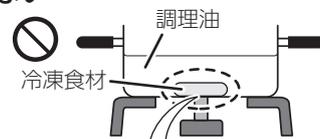


必ず守る

・揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う
調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、発火するおそれがあります。



・冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げものの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。



・複数回使った調理油で揚げものをしない
何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火するおそれがあります。



・揚げすぎない
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。



必ず守る

・調理油過熱防止装置がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため
注意する
やけどやけがの原因になります。



・調理油の廃油凝固剤使用時に油を加熱するときは、絶対に機器から離れない
廃油凝固剤の分量を守り、油の温度が上がりすぎないように注意し、溶けたらすぐに消火してください。廃油凝固剤を入れすぎたり、加熱しすぎると、発火するおそれがあります。

温度センサーは



・温度センサーの改造や取り外しての使用は行わない
温度センサーが正しくはたらかなくなり、火災の原因となります。



・強いショックを加えたり、キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、温度センサーが故障すると安心・安全機能が作動しない場合があります。



必ず守る

・こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検、修理を依頼してください。

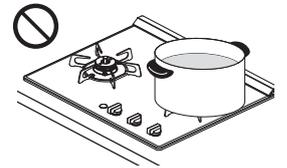
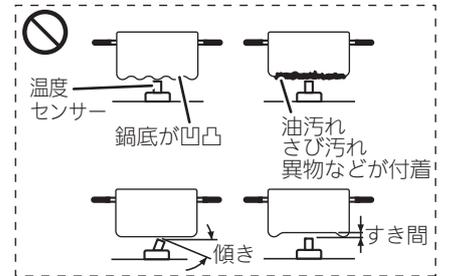


必ずお守りください (安全上の注意)

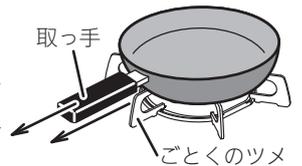
コンロ編

鍋などについて

-  禁止
・温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
-  禁止
・鍋底やフライパンの底などに異物や著しい汚れ、焦げなどが付着したまま使用しない
温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
-  必ず守る
・鍋の重さは、調理物を含め300g以上で調理する
とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。
-  禁止
・鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない
火災や機器焼損の原因になります。



-  禁止
・石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。
-  禁止
・片手鍋、底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない
-  必ず守る
・片手鍋などは、調理中に鍋のふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると、温度センサーの力により押し上げられ、傾いたりずれ落ちる場合があるので取っ手を持って使用する
不安定な状態で使用すると、鍋の種類によっては、鍋が傾いたり滑って調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。
 - ・片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
 - ・中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。



取っ手とごとくのツメの方向を合わせる

注意

-  禁止
・ごとくを外して鍋などを直接コンロに置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。
-  禁止
・トッププレートに鍋などをのせない
トッププレートのキズや損傷の原因になります。
-  必ず守る
・陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用する
異常過熱による機器損傷の原因になります。
-  禁止
・手前(左右コンロ)のバーナーで、土鍋などを長時間強火で使用しない
器具栓つまみ、高温炒めボタンが熱くなります。
炎や排気熱および高温のなべに手が触れ、やけどをするおそれがあります。

コンロ編

トッププレートについて

警告

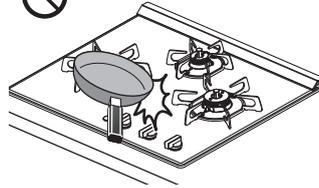


禁止

- ・衝撃や荷重を加えない
- ・上にのらない

トッププレートが変形、破損して、異常過熱や火災の原因になります。

※破損したときは、けがの原因になりますので、程度の大小に関係なく、すぐに修理を依頼してください。



お手入れ編

お手入れの際は

注意



必ず守る

- ・機器が十分冷めてから、手袋をして行う

やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。



禁止

- ・機器や機器周辺(キッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしない

機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。



必ず守る

- ・ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合はよくしぼり、水分を切ってから使用する

機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。



禁止

- ・トッププレートは取り外さない

裏面でけがをする原因になります。

また、ガラス裏面に洗剤や薬剤が付着すると、変色したりキズの原因になります。



必ず守る

- ・バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る

水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

必ずお守りください (安全上の注意)

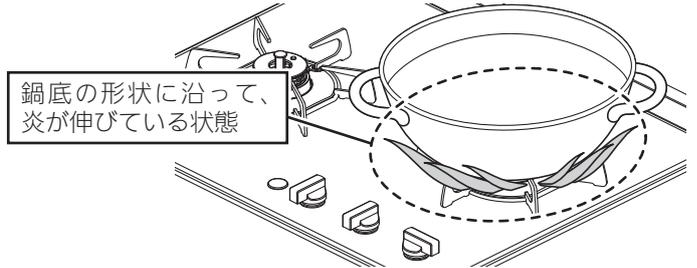
お願い

機器の使用について

- ・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
- ・ガス栓を閉めて火を消さないでください。
やけどや思わぬ事故の原因になります。
- ・トッププレートの上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。
磁力線により、機器が故障する原因になります。
- ・トッププレートの上で、硬いものを落下させたり、鋭利なものでこすったりしないでください。
トッププレートが割れたり、キズの原因になります。
- ・弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらをゆっくり開閉してください。
開閉により発生した風で、火が消える場合があります。
- ・トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。
もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。
貼り替える場合はトッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

コンロの使用について

- ・弱火のときは炎が見えにくい場合がありますので、消し忘れに注意してください。
- ・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してください。
- ・強火で長時間使用すると土鍋やホーロー鍋など、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。
長時間使用したあとに、鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。
ごとくがくっついた場合は、すぐに元の位置に戻し、機器が冷めてからくっついたごとくを鍋から外してください。
くっついたまま動かすと、ごとくが落下し、やけど、けが、機器損傷の原因になります。
- ・煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。
バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、点火不良や機器焼損の原因になります。機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。
- ・手前(左右コンロ)のバーナーを長時間強火で使用した場合、鍋底の形状によっては、器具栓つまみ、高温炒めボタンが熱くなる場合があります。



突沸現象について

- ・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。)

突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。

水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ(容器をゆする、塩、砂糖などを入れる)で生じます。

この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをします。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- ・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。)
- ・熱い汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
- ・鍋の大きさにあった火力で加熱する。

設置編

警告



必ず守る

- ・機器の設置、移動、取り外しの際は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に依頼する

ガス配管接続には専門の資格、技術が必要です。



分解禁止

- ・絶対に改造、分解は行わない

改造、分解は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。
また、火災の原因になります。

警告

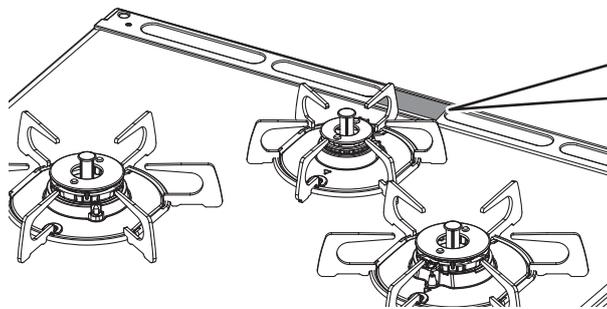


必ず守る

- ・銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する
- ・転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する

表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒、異常点火や機器が故障する原因になります。

供給ガスがわからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。



銘板 ※図は都市ガス用13Aの場合

<p>.....部分を確認してください。</p> <p>製造年月・製造No (図は2019年2月生産の例)</p>	<p>品番 ZGDRL6A18NGK</p> <p>(型式名) 都市ガス用</p> <p>13A.000kW, 12A.000kW</p> <p>19.02-000000</p> <p>H N</p> <p>クリナップ株式会社</p>	
---	---	--

警告



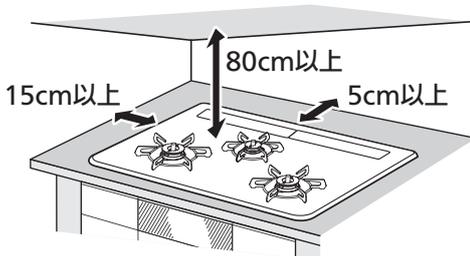
必ず守る

- ・可燃性の部分(棚、壁、家具など)から十分離して設置する

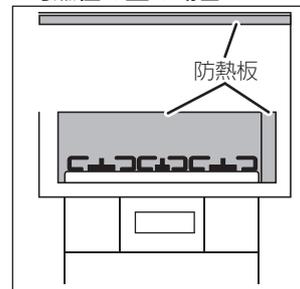
火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。

可燃性の壁との離隔距離を下図のように取れない場合は、必ず別売部品の防熱板を取り付けてください。
※表面がステンレスやタイルでも壁の内側がベニヤ板などの場合があります。確認できない場合は、防熱板が必要です。詳しくは、取付・設置説明書を参照してください。

※防熱板のお求めはお買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。



<可燃性の壁の場合>



必ず守る

- ・機器周囲の改装をする場合(吊り戸棚を付けるなど)も、可燃物との離隔距離を確実に離す
- 火災の原因になります。

安心・安全機能／お知らせ機能

安心・安全機能

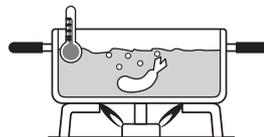
過熱を未然に防止

調理油過熱防止装置

油の温度を約250℃に保つよう、自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。自動火力調節している状態が約30分続くと自動で火を消します。また、弱火の状態でも温度が上昇し、約250℃以上になった場合も自動で火を消します。

ただし、後コンロは自動火力調節せず、約250℃になると自動で火を消します。

- ・鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
- ・高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。



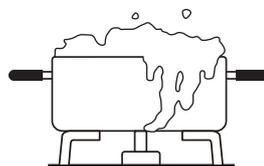
火力調節
します

火を
消します

炎が消えるとガスを自動でストップ

立消え安全装置

煮こぼれや風などで火が消えると、自動でガスを止めます。

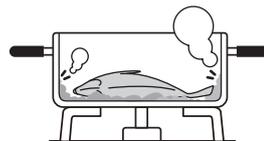


ガスを
止めます

万一消し忘れても一定時間で自動消火

消し忘れ消火機能

点火後、約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)で自動で火を消します。



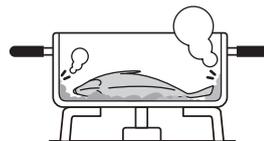
火を
消します

煮ものなどで焦げついた場合、鍋を傷める前に自動消火

焦げつき自動消火機能

煮もの調理などで鍋底が焦げつきはじめたら、自動で火を消します。

- ・鍋の材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。
- ・弱火から強火に切り替えたときに焦げつき自動消火機能がはたらいて自動消火することがあります。再度点火して使用してください。
- ・高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。



火を
消します

点火時の炎あふれを防止

中火点火機能 左右コンロ

コンロ点火時の炎あふれを抑えるために、点火時に器具栓つまみは「ON」の位置(中央)で止まり、中火で点火します。

お知らせ機能

火が消えた際に器具栓つまみを戻し忘れると、ブザー音でお知らせ

器具栓つまみ戻し忘れブザー

安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。

戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。

※他のバーナーを使用中は、ブザー音が鳴りません。

コンロ使用中であることをブザー音でお知らせ

コンロ使用中お知らせブザー

コンロ点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。

乾電池を交換する

乾電池の交換時期が近付くと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時は、ブザー音『ピー』でお知らせします。乾電池の容量がなくなると点火できなくなりますので、新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

⚠注意



乾電池は充電、分解、加熱したり、火の中に投入しない

乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

禁止

お願い

- 乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しく使用してください。
- 乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
- 乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量がなくなった場合は使用できません。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
アルカリ乾電池(単1形：2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。
(使用状況、乾電池製造メーカーにより使用可能時間が短くなる場合があります。また、新しい乾電池と古い乾電池の組み合わせや、種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合や、マンガン乾電池を使用した場合は、使用可能時間が短くなります。)
- 未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属の乾電池は、お試用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。交換するときは、アルカリ乾電池(単1形：2個)を入れてください。
- 電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。
- 単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スペーサーや充電式単1形乾電池は、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも使用可能時間が極端に短くなります。

① 機器が冷めていることを確認する

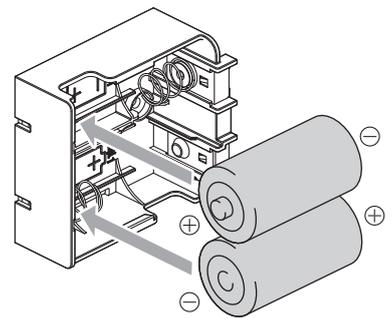
② キャビネットの1段目引き出しを取り外す

- キッチン本体の取扱説明書を確認し、1段目の引き出しを取り外してください。

③ 乾電池を交換する

- キャビネット内にある電池ケースからアルカリ乾電池(単1形：2個)の⊕ ⊖を確かめ、乾電池を交換してください。

※乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
発熱や液漏れの原因になります。



④ 1段目引き出しを取り付ける

コンロを使う準備

調理に適した鍋

鍋などの種類	煮ものなど	炒めもの 揚げものなど (揚げもの時の 油の量：200mL以上)
アルミ製の鍋、文化鍋 	○	○
ホーロー鍋、 ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上) 	○	○
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満) 	○※1	×
ステンレス製の無水鍋、 ステンレス製の多層鍋 	○※2	○
鉄製の鍋、 中華鍋、 フライパン 	○	○
土鍋、 圧力鍋、 耐熱ガラス容器 	○※2	×
やかん 	—	—

○：適しています。 ×：適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1：焦げつきがきつくなります。

※2：途中消火したり、焦げつく場合があります。

左コンロは高温炒めモード(19ページ)にすると途中消火せず使用できます。

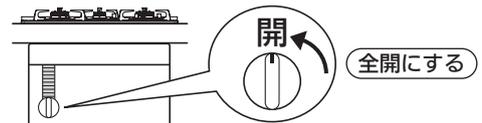
ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。

中華鍋を使うときのお願い

- ・底の平らな鍋を使用してください。
- ・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- ・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。
- ・必ず取っ手を持って調理してください。

①ガス栓を全開にする

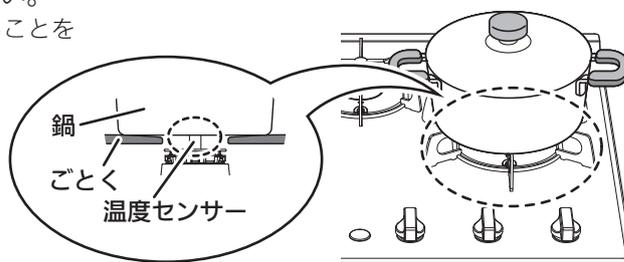
- ガス栓を『開』の状態にしてください。



②鍋などを置く

- ごとのく中央に鍋などを置いてください。
※点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

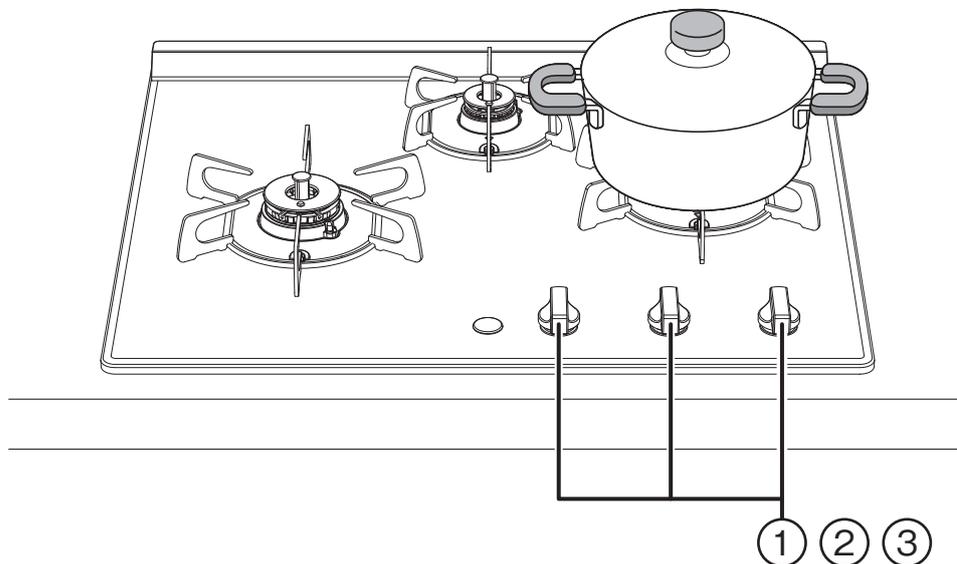
ごたく中央に鍋などを置く



コンロの使いかた (基本操作)

➡ 『コンロを使う準備』(16ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



ポイント

- ・炒めもの(野菜炒めなど)、焼きもの(目玉焼き、ハンバーグなど)をする場合は、1分程度予熱する。
※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安心・安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。(自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。)
- ・直火調理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんぱんに上げる料理)は、高温炒めモードで調理する。(19ページ)
※高温炒めモードを使わずに、水分が蒸発しても加熱を続ける料理をした場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

1分程度予熱



ご注意していただきたいこと

- ・鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。
トッププレートにキズがつくおそれがあります。

お願い

- ・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをするおそれがあります。(とくに、だし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)
※突沸現象については、11ページを参照してください。

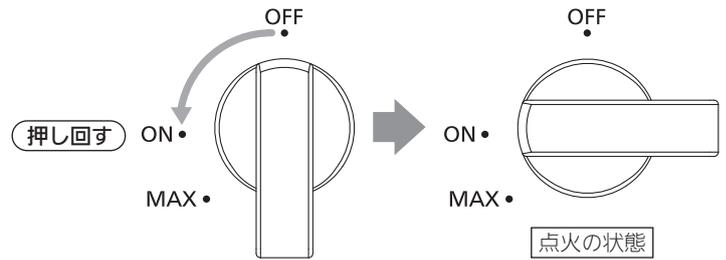
お知らせ

- ・約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
- ・点火後、約30分毎にブザー音『ピピッ』で使用中大であることをお知らせします。(14ページ)
- ・自動消火や安心・安全機能により火が消えた際に器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。(14ページ)

① 点火する

- 器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。

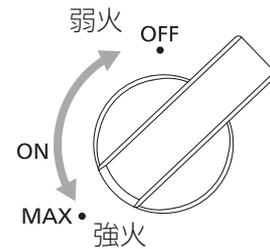
※必ず火がついたことを確認してください。
※左右コンロは、中火で点火します。
中火点火機能(13ページ)を参照してください。



② 火力調節する

- 器具栓つまみをゆっくりと回し、炎があふれない程度に調節してください。

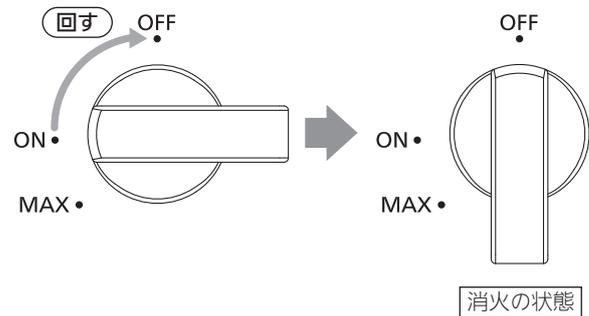
※後コンロは、火力を弱く設定しています。
強火側(MAX)に器具栓つまみを回しても、炎の大きさに変化はありません。



③ 消火する

- 器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

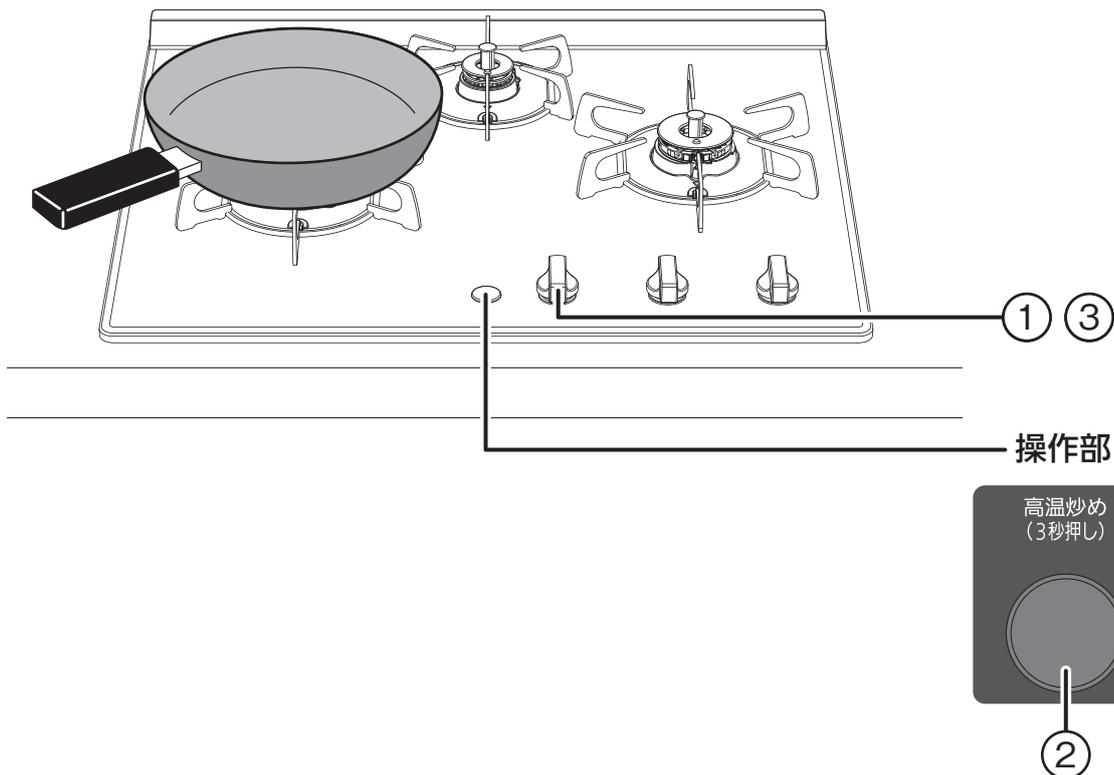


高温炒めモード (左コンロ)

直火調理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんぱんに上げる料理)などで、急に火が小さくなったり、消えてしまう場合に、通常より高い温度で調理できるモードです。ただし、温度が高くなりすぎると安全のため、火力を調節したり、自動で火を消します。
※高温炒めモードを使用すると、調理油過熱防止装置、焦げつき自動消火機能は作動しません。

➡ 『コンロを使う準備』(16ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央にフライパンなどを置く



警告



高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
調理油過熱防止装置が作動せず、調理油が発火し、火災の原因になります。

禁止

注意



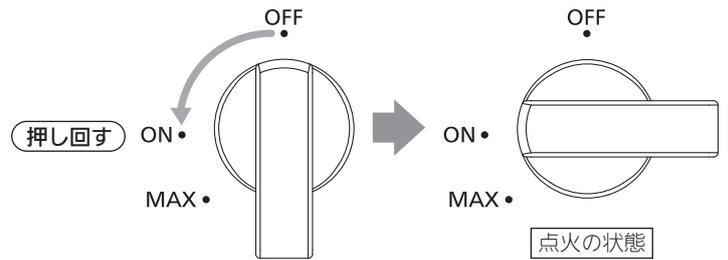
直火調理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの故障の原因になります。

お知らせ

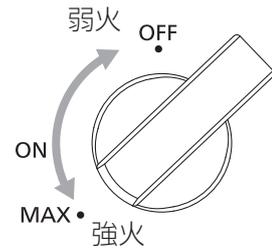
- 高温炒めモードは安全のため、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
使用中に高温炒めモードを解除して、続けて使用する場合は、はじめに点火してから約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)経過すると消し忘れ消火機能がはたらき、自動消火します。
- 自動消火や安心・安全機能により火が消えた際に器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。(14ページ)

① 点火し、火力調節する

- 器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。
※必ず火がついたことを確認してください。

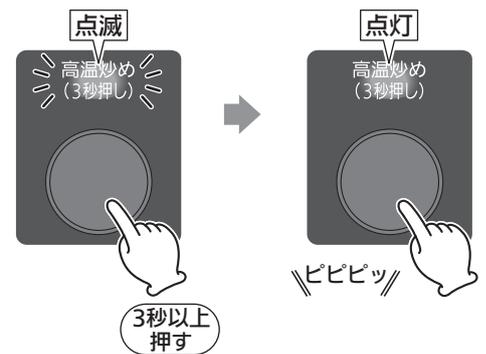


- 器具栓つまみをゆっくりと回し、炎があふれない程度に調節してください。



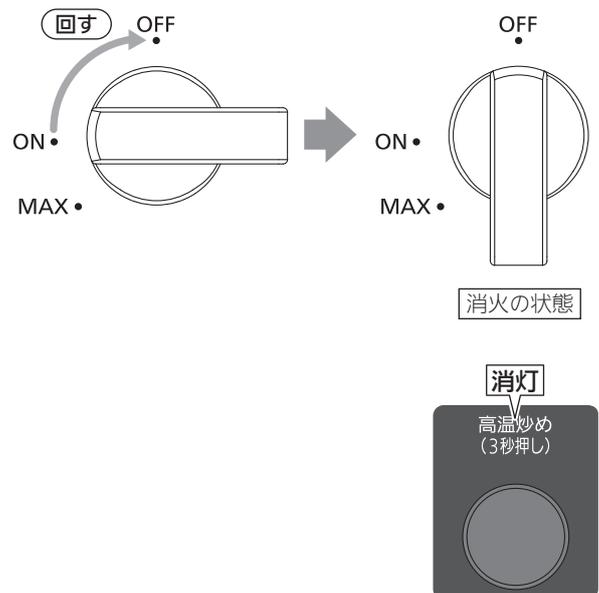
② 高温炒めを設定する

- 高温炒めボタンを**3秒以上**押ししてください。
※押している間は点滅します。
※設定を取り消すときは、高温炒めボタンを押してください。
※設定を取り消しても消火しません。



③ 消火する

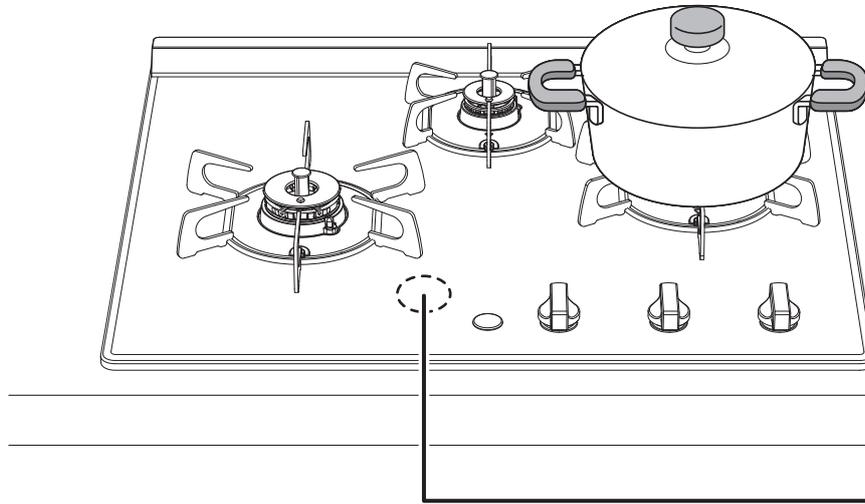
- 器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にしてください。
※必ず火が消えたことを確認してください。



レンジフード連動機能

ガスビルトインコンロの点火および消火の操作に合わせ、自動でレンジフードの運転、停止を行う機能です。

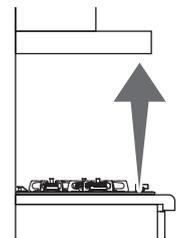
ごとく中央に鍋などを置く



赤外線発信部
(機器内部)

操作について

- レンジフードは、点火操作と同時に自動で運転を開始します。
 - 消火操作をしたときは自動で停止します。
※レンジフードのタイプにより、タイマー運転し、数分後や設定時間後に停止します。また、停止後に常時換気運転をするタイプもあります。詳細はレンジフードの取扱説明書を参照してください。
 - 消火操作を行っても他のコンロを使用している場合、レンジフードは停止しません。
 - レンジフード連動は、トッププレート(赤外線発信部)からの赤外線信号をまっすぐ上に発信し、レンジフードで受信し、レンジフードを動作させます。
- ※連動しにくい場合は、レンジフード側の操作部で操作してください。



受信部に直接発信

ご注意ください

下記の場合は、動作しないおそれがあるので注意してください。

- 赤外線発信部の上に鍋などを置いている。
- 前かがみで操作し、頭や手で赤外線がさえぎられている。
- テレビ、エアコンなどのリモコンを同時に操作している。
- 機器の赤外線発信部やレンジフード側の赤外線受信部が汚れている。
- レンジフード側の赤外線受信部に太陽光が当たったり、受信部と照明が近すぎる。



頭や手でさえぎらない

お願い

- ・連動機能対応しているレンジフードとの組み合わせが必要です。
※レンジフードの使いかたは、レンジフードの取扱説明書をよくお読みください。

お知らせ

- ・コンロ使用時に安心・安全機能がはたらき自動消火した場合、レンジフードは停止しません。
器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にするか、レンジフード側の操作部で停止してください。

日常点検とお手入れ

- ・ 日常の点検とお手入れは必ず行ってください。
- ・ 煮こぼれや誤って鍋をひっくり返すなど、機器内に多量の煮汁などが入った場合は、機器の故障や寿命が短くなるおそれがありますので、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。

日常点検について

機器のまわりに
可燃物などはありますか？

機器のまわりに可燃物がないようにしてください。(6ページ)

各部品は正しく取り付け
されていますか？

バーナーキャップ、バーナーリングカバー、ごとくなど正しく
取り付けられた状態でお使いください。(27~29ページ)

汚れていませんか？

煮こぼれなどで機器が汚れているときはお手入れしてください。
温度センサーを押し、スムーズに上下に動くか確認してください。
汚れていると動きが悪くなり、温度センサーが正しくはたらか
ない場合があります。(28ページ)
スムーズに動かない場合は、必ず点検・修理を依頼してください。

⚠️ 注意



必ず守る

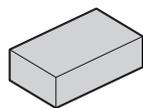
- ・ お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷めてから手袋をはめて行う
とくに給気口の内側(奥側)をお手入れするときは、十分注意する
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。
- ・ お手入れ後は、機器にふきん、紙類などを置き忘れていないか必ず確認する
火災の原因になります。

お願い

- ・ 道具や洗剤を目立たない部分で試してから、使用してください。
- ・ 食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書をよく読んで、使用してください。
また、煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合があります。
- ・ 汚れたままにすると汚れがこびり付き、取れにくくなりますので、使用の都度お手入れしてください。
煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
※とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
- ・ バーナーキャップ、ごとく、バーナーリングカバー、トップウイングは取り外して洗うことができます。それ以外
の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ道具、洗剤について

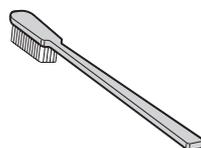
適しているもの



スポンジたわし



やわらかい布



やわらかい歯ブラシ



台所用中性洗剤

トッププレート(ガラス面)のみ



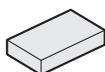
クリームクレンザー



メラミンスポンジ

※常用しないでください

⊘ 適していないもの



ナイロンたわし



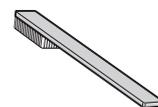
亀の子たわし



金属たわし



スポンジたわし裏面



硬いブラシ



漂白剤、
酸性洗剤、
アルカリ性洗剤



弱酸性洗剤、
弱アルカリ性洗剤



シンナー、
ベンジン、
アルコール



重曹



みがき粉



クレンザー



歯みがき粉



クリーム
クレンザー

※上に記載のものを使ってお手入れした場合、表面が変質し、はがれ、変色、さび、割れ、トッププレート外周枠のはがれの原因になります。

直接かけて使用しない

スプレー式洗剤



- ・直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。

絶対に使用しない

可燃性スプレー、浸透液、潤滑剤



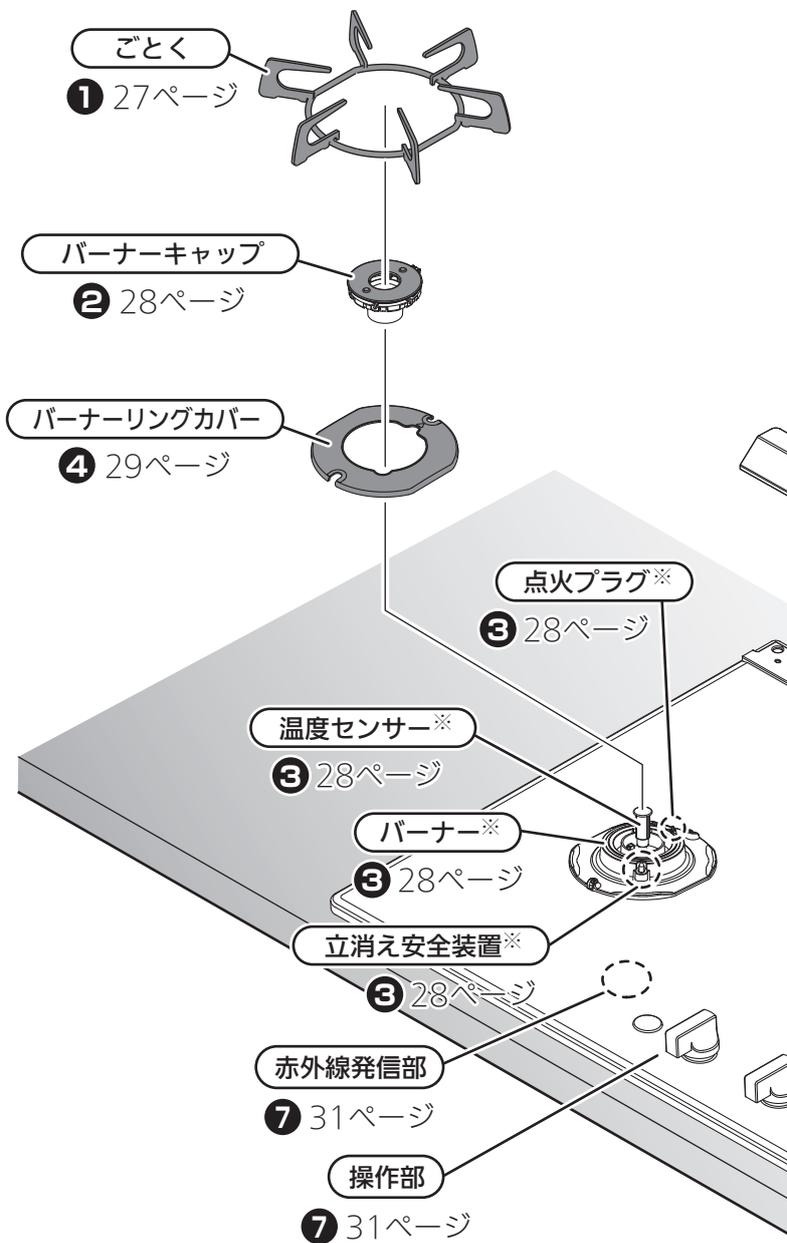
- ・引火して火災の原因になります。

お手入れ

お手入れできる部品

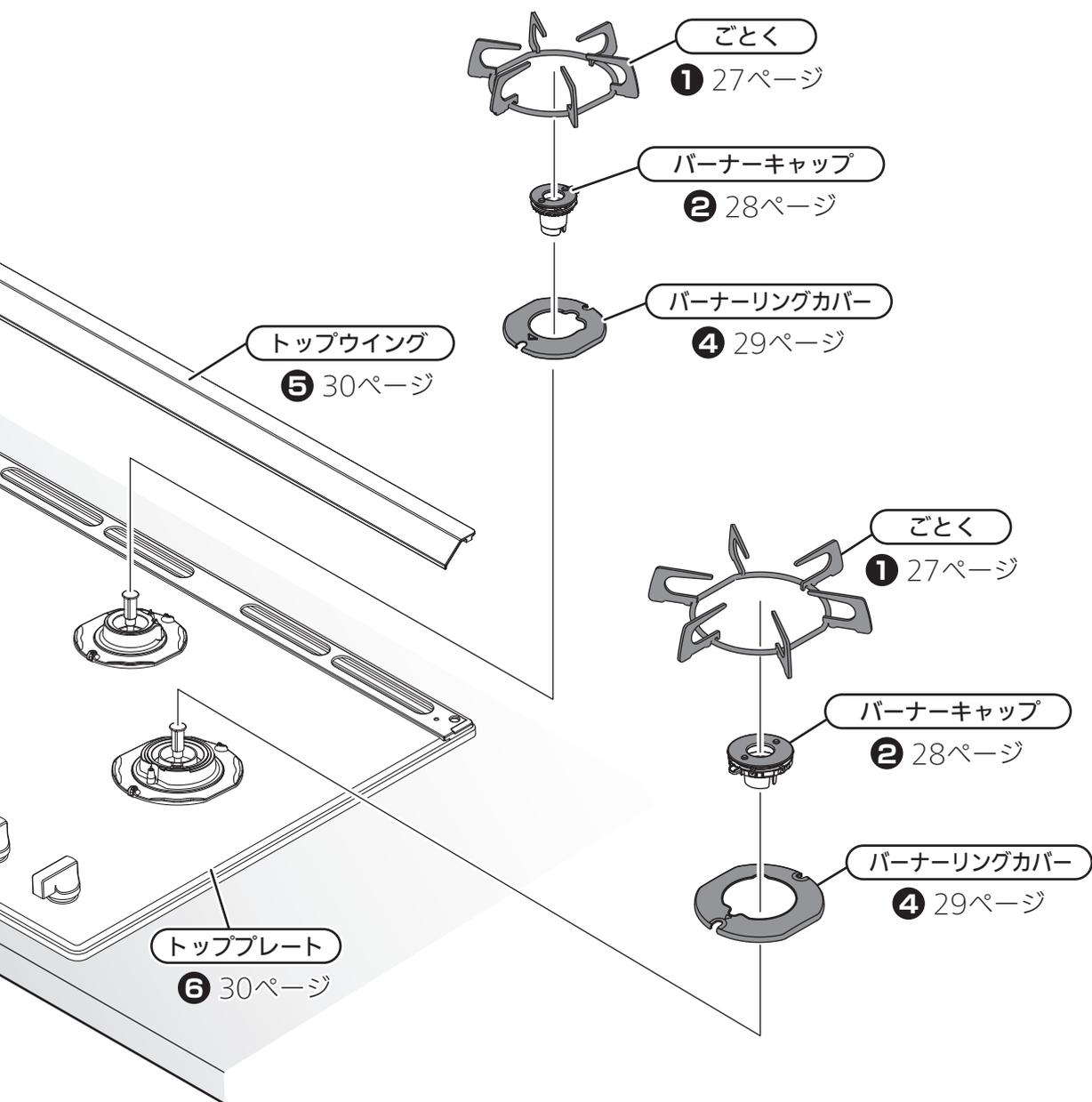
◎マークの説明 (例) **ごとく** : 部品の名称

① 27ページ : 取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかたの参照番号と参照ページ



※バーナー、温度センサー、点火プラグ、立消え安全装置は、すべてのコンロバーナーに付いています。

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する



お知らせ

・ごとく、バーナーキャップ、バーナーリングカバー、トップウイングなどは消耗部品です。交換部品(有料)として準備しております。(41ページ)
 お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。

お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

1

ごとく

取り外しかた

- ごとくを真っ直ぐ上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

- 台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのときは・・・

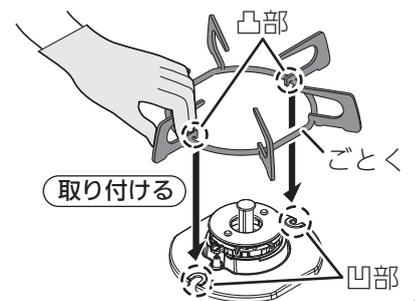
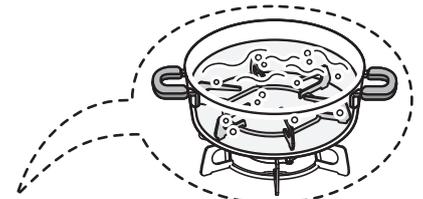
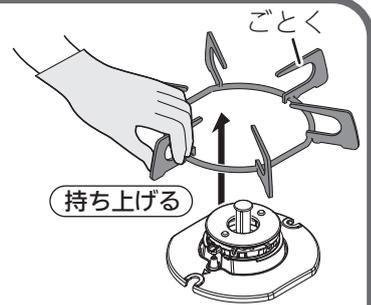
- 台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき！

- 煮洗いするとさらに汚れが取れやすくなります。
- 水を入れた大きめの鍋で約30分加熱し、冷ましてから取り出し、水洗いして水気をふき取ってください。
- ※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。ごとく以外は、煮洗いしないでください。
- ※取り出すときは、やけどなどに注意してください。

取り付けかた

- ごとく内側の凸部(前後2カ所)を、バーナーリングの凹部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。



注意



必ず守る

温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する

鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。

また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。

密着しない場合、点検、修理を依頼してください。



必ず守る

バーナーキャップは正しく取り付ける

誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、

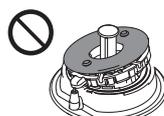
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- 機器寿命が短くなるおそれがあります。



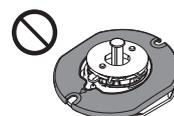
必ず守る

バーナーリングカバーとごとくは正しく取り付ける

誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用すると、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがついたり、ガラスが割れる原因になります。



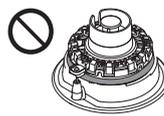
バーナーキャップの浮き



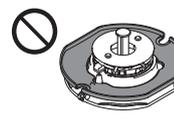
バーナーリングカバーの浮き



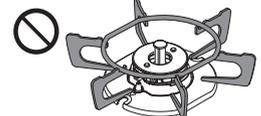
ごとくの浮き



バーナーキャップの裏返し



バーナーリングカバーの裏返し



ごとくの裏返し

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する

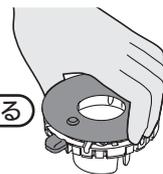
2

バーナーキャップ

取り外しかた

- ・バーナーキャップを真っ直ぐ上に持ち上げて、取り外してください。

持ち上げる



お手入れ方法

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

※水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

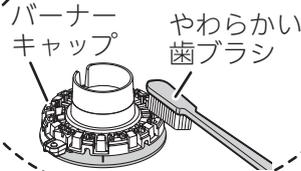
取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

目づまりしたときは

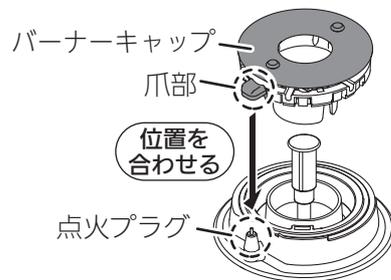
- ・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。

※目づまりや汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



取り付けかた

- ・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。(点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。)



3

バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサー

※バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーは取り外せません。

お手入れ方法

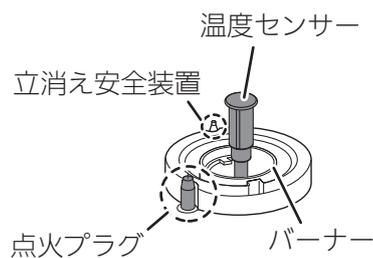
- ・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないように乾いた布で再度ふき取ってください。

※温度センサーをお手入れするときは、温度センサーが曲がらないように、片手を添えてください。

※洗剤などは使用しないでください。

※点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。

※点火プラグ、立消え安全装置の汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



4

バーナーリングカバー

取り外しかた

- ・バーナーリングカバーを真っ直ぐ上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが取れにくくなります。

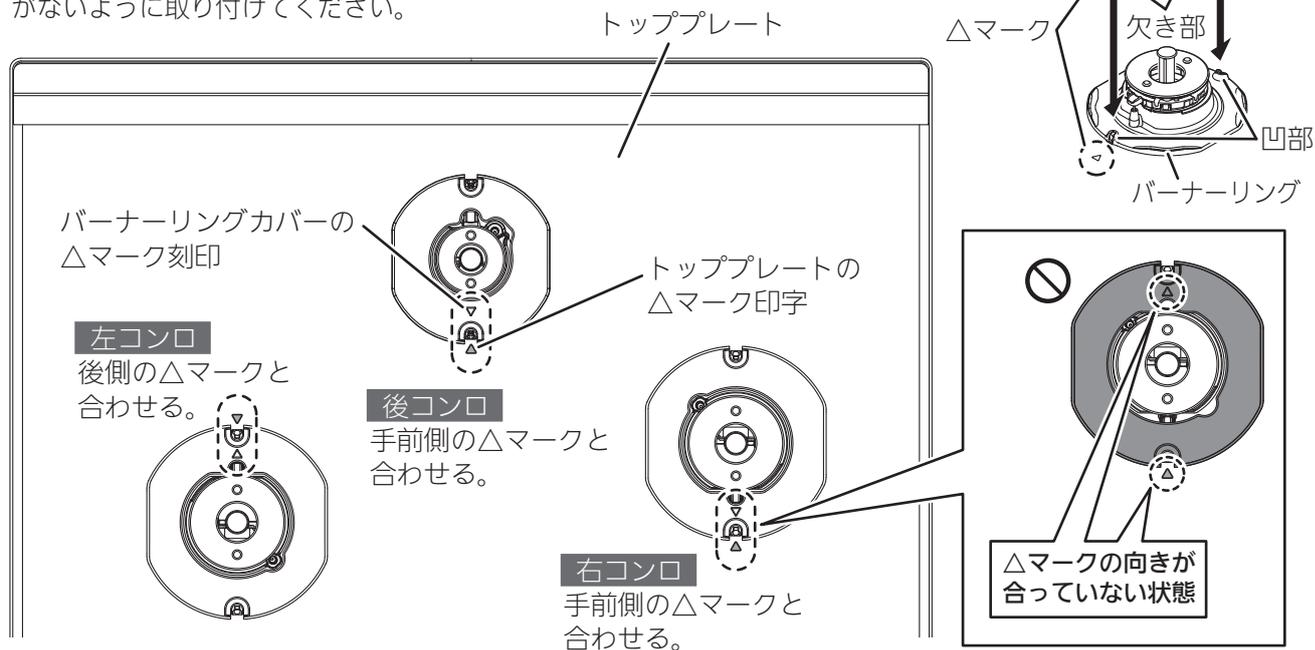
取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※バーナーリングカバーを斜めに立てながら、強い力を加えないでください。
変形の原因になります。

取り付けかた

バーナーリングカバーは、コンロの位置によって取り付ける方向が異なります

- ・トッププレートとバーナーリングカバーの△マークが向き合うようにし、欠き部(前後2カ所)をバーナーリングの凹部(前後2カ所)に合わせて、浮きがないように取り付けてください。

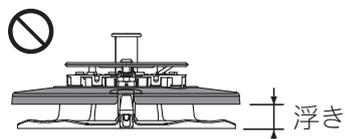


注意

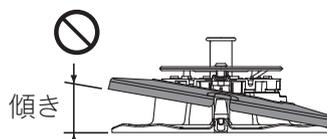


必ず守る

トッププレートの△マーク印字とバーナーリングカバーの△マーク刻印が向き合うように正しく取り付ける△マークが向き合っていない状態(浮き、傾きなど)で使用すると、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。



バーナーリングカバーが浮いた状態



バーナーリングカバーが傾いた状態

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する

5

トップウイング

取り外しかた

- ・トップウイングを真っ直ぐ上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

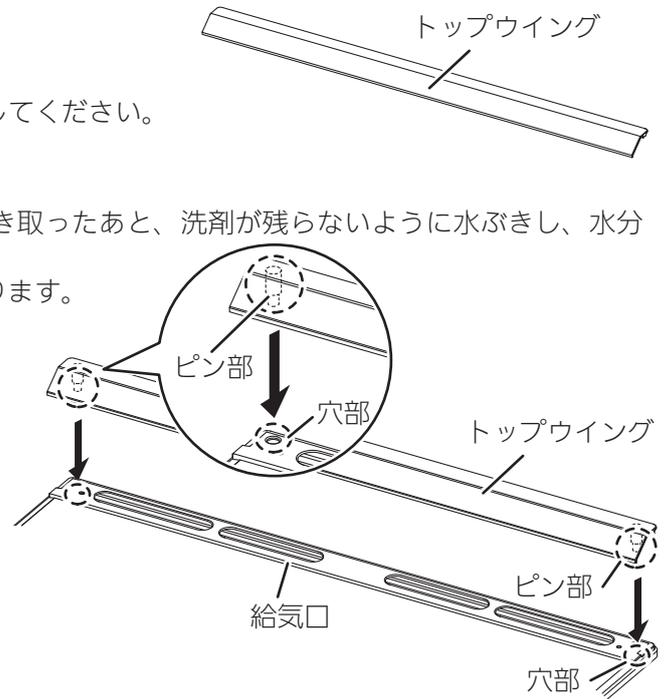
- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが取れにくくなります。

取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

取り付けかた

- ・トップウイングのピン部を給気口の穴部に合わせて取り付けてください。
- ※トップウイングを正しく取り付けないと、コンロ使用時に点火不良や不完全燃焼の原因になります。



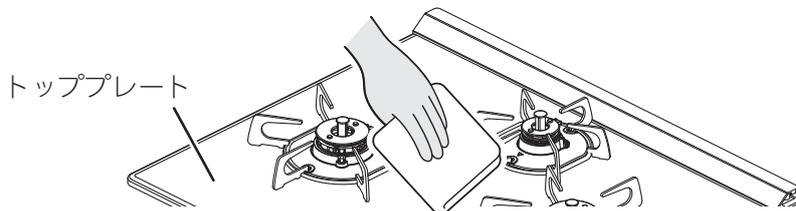
6

トッププレート

※トッププレートは取り外せません。

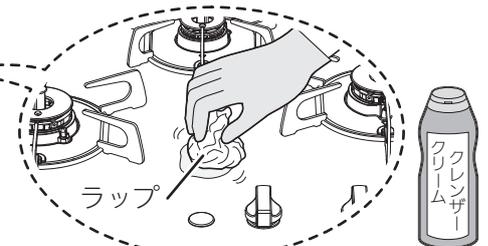
お手入れ方法

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※煮こぼれした場合は、その都度必ずふき取ってください。煮こぼれを放置されますと、バーナーリングのすき間よりトッププレート内部に煮汁が入り、トッププレートの変色の原因になります。



ガラス部の取れにくい汚れは・・・

- ・メラミン樹脂系のスポンジを使用したり、丸めたラップにクリームクレンザーをつけてこすり、ふき取ってください。
- ※クリームクレンザーは常用しないでください。また、ガラス部以外には使用しないでください。塗装のはがれ、色が薄くなる、光沢がなくなるなどの原因になります。



お願い

トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する

7

器具栓つまみ、操作部、赤外線発信部

※器具栓つまみ、操作部は取り外せません。

お手入れ方法

- ・乾いた布でよくふいてください。
- ※器具栓つまみのお手入れの際は、誤って点火しないように注意してください。

取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※操作部の機器内部に赤外線発信部があります。
操作部の周辺に洗剤や水分が残ると、レンジフード連動機能が正しくはたらかない原因になります。



よくあるご質問

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照 ページ
<p>・使用していないのにブザー音がする</p>	<p>お知らせ機能がはたらいっているためです。 自動消火した場合、器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。 <u>戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。</u>必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。</p>	14
<p>・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする</p>	<p>安心・安全機能がはたらいっているためです。 自動的に火力を弱火に調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。 また、高温炒めボタンを押すと、通常時より高温での調理ができますが、異常過熱を防止するために温度センサーの温度が上がりすぎたり、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。 ※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。</p>	13・19
<p>・電池交換サインが点滅している</p>	<p>乾電池が消耗しているためです。 新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(付属の乾電池は、お試し用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。) ※電池ケースはキャビネット内に取り付けてあります。</p>	15

よくあるご質問

ご質問	詳細の 番号	回答	参照 ページ
<p>点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する</p>	-	<p>1カ所の点火操作ですべてのバーナーがスパークします。異常ではありません。</p>	-
<p>点火しない</p> <p>ご質問の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える 		<p>乾電池が消耗しています。新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。</p>	15
	①②	<p>煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。</p>	28
	③④	<p>バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。</p>	27
		<p>器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。</p>	18
		<p>アルミはく製する受けは使用できません。使用しないでください。</p>	6
		<p>ガス栓を閉めていると点火できません。ガス栓を全開にしてください。</p>	16
<p>炎の状態がおかしい</p> <p>ご質問の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすすがつく 	①②	<p>LPガスを使用の場合で、LPガスがなくなりかけているときは、使用のLP事業者にお問い合わせください。</p>	-
	①②	<p>長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。</p>	-
	④	<p>温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたっています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく待ってから、再度点火してください。</p>	-
	①②	<p>煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、正常に燃焼しない場合があります。お手入れしてください。</p>	28
	③④	<p>バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。</p>	27
	①② ③④ ⑤	<p>風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。</p>	7
②④	<p>アルミはく製する受けは使用できません。使用しないでください。</p>	6	
⑤⑥	<p>バーナーの炎が一部短くなっています。異常ではありません。</p>	-	

次の現象に当てはまらないとき、また処置してもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
<p>炎の状態がおかしい(続き)</p> <p>ご質問の詳細</p> <p>① 炎が安定しない</p> <p>② 炎が黄色い、赤い</p> <p>③ 異常音をたてて燃える、消える</p> <p>④ 炎が均一でない</p> <p>⑤ 使用中炎が消える</p> <p>⑥ 鍋にすすがつく</p>	②⑤	<p>使用中は換気してください。</p> <p>器具栓つまみをはやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。異常ではありません。ゆっくり操作してください。</p>	7
<p>すぐに消火しない</p>	-	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	-
<p>強火になったとき、一瞬炎が大きくなる</p>	-	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	-
<p>部品が変色する</p> <p>ご質問の詳細</p> <p>① 表面が変色する</p> <p>② ごとくが変色する</p>	①②	<p>酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤を使用されると、変色する場合があります。</p> <p>ごとく先端は、炎が当たり、変色したり、ざらざらになります。異常ではありません。ごとくなどは消耗部品です。交換部品として販売しています。</p> <p>煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合がありますが、使用上問題ありません。</p>	24 41 23・27
<p>トッププレート表面の模様が薄くなったり、消えたりする</p>	-	ごとくとトッププレートが接触している場所では、トッププレート表面の模様が摩耗することがありますが、使用上問題ありません。	-
<p>トッププレートが熱くなる</p>	-	1カ所みのコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。使用中や使用直後はトッププレートに触らないよう注意してください。	7

全
体

よくあるご質問

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
市販の焼網が使えない	-	大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火調理(あぶりもの)してください。(左コンロ)	19
<p>コンロ使用時に…</p> <p>ご質問の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 鍋底の焦げつきがきつい 	①②	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。	16
	③④	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	9
	⑤	鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	28
	①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。しばらく待ってから再度点火してください。	13
	①⑤	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度が変わります。カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	13・16
	①⑤	鍋底が焦げついていないか確認してください。焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらい、自動的に消火します。	13
	①	点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	11
	①	弱火の状態、機器下のキャビネットとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	-
	①	冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	-
	①	無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	13・16
③	後コンロは、鍋を置かずに点火した場合、コンロの炎で温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらい、自動的に消火します。鍋を置いて再度点火してください。	13	
④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。弱火と強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動消火します。弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めボタンを押すと、高温での調理ができます。	13・19	
⑤	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	-	

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
乾電池	使用時に『ピー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する	—	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(付属の乾電池は、お試し用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。) ※電池ケースはキャビネット内に取り付けてあります。	15
	乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	—	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。 未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池(単1形:2個)に交換してください。	15
におい	使用中、においがする	①	すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてからお買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。	5
	ご質問の詳細		風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。	7
	① ガスのにおいがする	②	バーナーキャップなどに煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。	28
	② いやなにおいがする		周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがいないか確認してください。	6
音	使用中、消火後に音がする	①	器具栓つまみを戻し忘れていないか確認してください。器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。 ※安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときは、必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にしてください。 戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	14
	ご質問の詳細		コンロバーナー使用後の火が消えたときの音です。異常ではありません。	—
	① 消火後に「ピピッ」(5回)とブザー音がする	②	バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	27・28
	② 「ポン」と音がする	③	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	—
	③ 「カチッ」と音がする	④	点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。異常ではありません。	—
	④ キシミ音がする	⑤	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃烧するガスの通過音です。異常ではありません。	—
	⑤ 「シャー」と音がする	⑥	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。異常ではありません。	—
⑥ 点火初期に「ポッポッ」と音がする				
レンジフード	レンジフードが動作(停止)しない	—	赤外線発信部からの信号が、頭や手、鍋などでさえぎられないように操作してください。 赤外線発信部が汚れていると動作しない場合があります。お手入れしてください。 消火してから数分後に自動停止または、常時換気となります。レンジフードの種類により、停止方法が異なります。レンジフードの取扱説明書を参照してください。 乾電池交換のお知らせが表示されていないか確認してください。	21 31 21 15・37

ブザー報知とお知らせ表示

※お知らせ表示は、器具栓つまみを「消火の状態」に戻すまで点滅が続きます。

ブザー音	お知らせ表示	部 位	内 容
《ピピッ》 (5回)	—	コンロ	器具栓つまみ戻し忘れブザーの作動
《ピー》 (1回)	—	コンロ	消し忘れ消火機能の作動
		左コンロ	高温炒めモードで消し忘れ消火機能の作動
	電池交換サイン 点滅 	—	電池交換のお知らせ
《ピー》 (2回)	—	コンロ	立消え安全装置の作動
《ピー》 (3回)	—	コンロ	点火時に着火しなかった
《ピー》 (4回)	—	コンロ	調理油過熱防止装置の作動 焦げつき自動消火機能の作動
		コンロ	器具栓つまみが動かない スパークが止まらない
《ピー》 (約10秒間) (繰り返し)	—	左コンロ	点火中に高温炒めボタンを長く押し続けている
		コンロ	操作部、温度センサーの故障
ブザーが 鳴り続ける 《ピー》 (約10秒間)	—	コンロ	電子部品の故障

原因	処置と再使用時の注意	参照ページ
安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときなどで、器具栓つまみが「点火の状態」のままになっている。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。	14
点火後、約120分連続使用した場合など。 設定後、約60分連続使用した場合など。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 コンロを続けて使用する場合は、再度点火してください。	13
乾電池の容量が少なくなってきたとき。	乾電池を交換してください。	15
炎のふき消え、煮こぼれした場合など。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 ガス栓が閉まっていると着火しません。 器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。	13・28
ガス栓が閉まっている、器具栓つまみの回し込みが足りない、煮こぼれによる炎口つまり、煮こぼれによる点火プラグの汚れ、着火不良など。	また、バーナーキャップ、点火プラグなどが汚れていると、着火しない場合があります。お手入れしてください。 コンロを続けて使用する場合は、再度点火してください。	16・18 28
調理油の過熱、焦げつき、消し忘れによる過熱、空焼きなど。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 よくあるご質問 「コンロ」「コンロ使用時に…」 ①調理中に消火する⑤鍋底の焦げつきがきついを確認してください。 調理油過熱防止装置がはたらいで消火した場合は、温度センサーが高温のため、点火しても消火する場合があります。 冷めるのを待ってから再度点火してください。	13・35
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻す)、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。	—
高温炒めボタンを長く押し続けたとき。	高温炒めボタンを離してください。	20
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻す)、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。	—

上記の処置方法で直らないときは、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターに連絡してください。

長期間使用しない場合／仕様

長期間使用しない場合

- ・ガス栓を閉め、乾電池を取り出してください。
乾電池を入れたままにすると、乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
- ・機器が冷めていることを確認し、各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
再度使用される場合は、ビニールなどを完全に取り外し、乾電池を入れてから使用してください。

仕様

商 品 名	ガスビルトインコンロ
品 番	ZGDRL6A18NGK
型 式 名	DC3020SL
点 火 方 式	連続スパーク点火
安 心 ・ 安 全 機 能	全バーナー ・立消え安全装置 ・調理油過熱防止装置 ・消し忘れ消火機能 ・焦げつき自動消火機能 左右コンロバーナー ・中火点火機能
お 知 ら せ 機 能	・器具栓つまみ戻し忘れブザー ・コンロ使用中お知らせブザー
付 属 品	・取扱説明書(保証書付) ・取付・設置説明書 ・お試用乾電池(単1形マンガン乾電池：2個)
外 形 寸 法	高さ141mm×幅558mm×奥行458mm (トッププレート幅592mm)
質 量	12.5kg(本体)

使 用 ガ ス グ ル ー プ	ガス消費量(kW)				ガス 接続口
	左コンロ	右コンロ	後コンロ	全点火時	
都 市 ガ ス 用	13 A	4.20 {3,610kcal/h}	2.97 {2,550kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	8.14 {7,000kcal/h}
	12 A	3.90 {3,350kcal/h}	2.79 {2,400kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	7.58 {6,520kcal/h}
L P ガ ス 用		4.20 {0.301kg/h}	2.97 {0.213kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	8.14 {0.583kg/h}

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス／廃棄時のお願い

アフターサービス

◎保証について

- ・取扱説明書の42ページが保証書になっています。
- ・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間、一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- ・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。

◎補修用性能部品の保有期間

- ・補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年間です。
補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

◎修理を依頼するときは

- ・『よくあるご質問』(32～36ページ)、『ブザー報知とお知らせ表示』(37～38ページ)を調べていただき、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。
- ・依頼される際は、次のことをお知らせください。
 - ①商品名：ガスビルトインコンロ
 - ②品番：ZGDRL6A18NGK
 - ③型式名：DC3020SL
 - ④故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
 - ⑤ご住所、お名前、電話番号、道順(できるだけ詳しく)

◎転居されるときは

- ・ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。
- ・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。
この場合、調整、改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ・この機器は都市ガス13A・12Aもしくは、LPガス仕様のみ調整、改造できます。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

<修理料金のしくみ>

修理料金は①技術料 + ②部品代 + ③出張料などで構成されています。

①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。 ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。
②修理に使用した部品代金です。

廃棄時のお願い

お願い

- ・機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで、旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。
そのままにしておきますと、思わぬ事故の原因になります。

交換部品(消耗部品)

- ・下記の交換部品(消耗品)＜有料＞は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、お買い上げの販売店または、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名称	形状	本体価格(税別)	商品番号
ごとく(大) (左右コンロ用)		¥1,700	LG0F120030207
ごとく(小) (後コンロ用)		¥1,600	DG3C120470104
バーナーキャップ(大) (左右コンロ用)		¥1,500	DG3C32003106
バーナーキャップ(小) (後コンロ用)		¥1,000	DG3C32006107
バーナーリングカバー(大) (左右コンロ用)		¥ 800	DS0B120060306
バーナーリングカバー(小) (後コンロ用)		¥ 700	DS0B120070301
トップウイング		¥4,200	DC0Q12012105

・2019年2月現在の価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※上記本体価格には、消費税・配送費は含まれておりませんので、ご購入の際は別途消費税・配送費が必要となります。

(ご購入時点における消費税率となりますことをあらかじめご了承ください。)

詳しくは、裏表紙のクリナップカスタマーセンターにお問い合わせください。

アルカリ乾電池(単1形)は電気店などでお買い求めください。

・交換部品(消耗部品)の詳細は『各部のなまえ』(3~4ページ)を参照してください。

保証書

◎ 関連機器用

シリーズ・品番	ZGDRL6A18NGK			出張修理
保証期間	取付・設置日から1年間	★取付・設置日	年	月 日
★お客様	ご住所	見本 TEL ()		
	お名前			
★販売店	住所 店名	TEL () (印) またはサイン		

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
- 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。
ならびに、浄化槽や洗剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
- タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。
- 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
- 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- 本保証書のご提示がない場合。
- 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 離島または離島に準じての遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里 6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771

● 廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

● アフターサービスのご用命

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

● アフターサービスのご用命

☎ 0120-126-174

通話料
無料

クリナップカスタマーセンター

ご依頼の際は、以下の内容をお知らせください。

- 検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo. ● 症状
- ご購入年月日 ● お名前・ご住所・お電話番号

受付時間:

9:00～18:00

*ただし、1月1日(元日)はお休みさせていただきます。
*諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<http://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの 訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里 6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771